



〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-25 兵庫人権会館2階  
TEL: 078-252-8280 FAX: 078-252-8281  
e-mail: blrhg@extra.ocn.ne.jp URL: http://blrhg.org/

## 第1回人権セミナーを開催しました



2024年7月13日、第1回人権セミナーを兵庫県立のじぎく会館で開催しました。テーマは『トランスジェンダー差別を考える』で、弁護士の仲岡しゅんさんにご講演いただきました。今回は約80人の方にご参加いただきました。

ここ数年「女性を自称すれば誰でも女性用トイレや風呂に入れるようになり性犯罪が増える」などのデマ言説が広げられる一

方で、トランスジェンダーの人たちの現実ほとんど知られていない状況にあります。

仲岡さんは、現在のトランスヘイトの酷い状況や特徴について、実際のネットの書き込みなど具体例を挙げて説明されました。また「性別移行」とは「社会生活実態や人間関係、医療面など年単位の長い時間をかけておこなわれるもので、一人ひとり状況は違うこと、ある日突然切り替えられるようなものではなく、ネットを中心に広がる言説は現実からかけ離れたものである」と話されました。

また、「トランスヘイトは、ネット右翼がネットから飛び出した流れと重なるが、違うのは、表面上「反差別」「女性の人権」を掲げる比較的リベラルな層も一部含まれている点。判例なども含め、一つひとつ、具体的な問題として議論することが大事だ」と話されました。

\ まだ間に合います!! /

## ひょうご人権総合講座及び人権教育実践講座

2024年度ひょうご人権総合講座及び人権教育実践講座について、2024年7月31日(水) 申込締切でしたが、まだ空きがあります。参加ご希望の方は、2024年8月2日(金)までお申し込みいただけます(これ以降のお申し込みは研究所事務局までご相談ください)。

お申し込みがまだの方は  
お急ぎください。

ひょうご人権総合  
講座のお申し込み  
はこちら→



人権教育実践講座  
のお申し込みは  
こちら→



(一社) ひょうご部落解放・人権研究所 2024年度人権セミナー

## 《第2回》変容する現代社会の部落差別

講師：阿久澤麻理子さん（大阪公立大学教授）

2016年成立の部落差別解消推進法では、「現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」と書かれています。「差別は形を変え、今も再生産されている」と言われますが、どのように変化しているのでしょうか。

2023年9月に発行された『差別する人の研究—変容する部落差別と現代のレイシズム』（旬報社）では、アメリカのレイシズム研究を手掛かりに、部落の「土地」に対する忌避感や「逆差別論」、部落の所在地情報の拡散の問題やインターネット上の差別などについて考察しています。

第2回セミナーでは著者の阿久澤麻理子さんとともに、部落差別のあり様がどのように変化してきたのか、その状況を変えるために何が必要なのか、考えていきたいと思えます。

■日時：2024年10月12日（土）14：00～16：00（13：30受付開始）

■参加資料代：一般：1000円

正会員（個人会員）：無料

定期購読（個人）・学生・賛助会員：500円

※特別会員の方は無料クーポンをご利用ください。

■場所：兵庫県立のじぎく会館 201号室（神戸市中央区山本通4-22-15）

※オンライン配信有（zoomミーティング）

■定員：〔会場〕60人、〔オンライン〕90人

■申込方法

当研究所ホームページ（<http://blrhyg.org/>）よりお申込みください。

右記QRコードから申込ページへお入りいただけます。

お電話、メール等でもお申し込みいただけます。



■その他

- ・ご参加は、セミナーの趣旨に賛同する人に限ります。
- ・録音・録画や資料の二次利用などは固くお断りいたします。
- ・会場ではマスクの着用等、感染対策にご協力をお願いします。

### 第3回 パレスチナ問題（仮）

講師：役重善洋さん

（敬愛大学国際学部非常勤講師他）

日時：2024年12月14日（土）14～16時

場所：兵庫県立のじぎく会館

### 第4回 震災と人権（仮）

講師：増島智子さん

（被災地NGO協働センター）

日時：2025年2月15日（土）14～16時

場所：兵庫県立のじぎく会館



本の紹介

## 『日本幼児史 子どもへのまなざし』

柴田純著、吉川弘文館、2013年1月、2,420円(税込)

今を去ること30年ほど昔、まだ学生の頃、「七歳までは神のうち」という言葉を授業で教わった。「七つ前は神のうち」「七歳までは神の子」などのバリエーションがある（今回は便宜上「七歳までは神のうち」に統一して書く）。昔は子供の死亡率が高く7歳までに亡くなる子が多かったことから、7歳までは完全に人間になり切っていない神に近い存在、異界につながる存在などとみられており、そのため7歳までの子供に神性や聖性を認めていた、そういう伝統的な子供観がかつての日本にはあった……、そんな説明だった。当時は、民俗学の通説と思われていたし、歴史学や文学研究でも参照されていた。私も大変面白いと思い、得意がっ



ていろいろな人に吹聴してきた。ところが数年前、雑誌の記事か何かで、その説を否定する『日本幼児史』という本が2013年に出ていることを知ってびっくりした。梯子を外された気分になったが、アップデートを怠った自分が悪い。子供を聖なるものとする子供観は前近代の日本には存在しておらず、「近代以降にごく一部の地域でいわれた俗説的表現にすぎない」ことが既に明らかにされていたのである。

ところで、数か月前にYahoo!ニュースでたまたま見つけた記事で、ある著名な思想家が7歳までの子供を「聖なるもの」として扱うという伝統的な価値観があったと言及しつつ、現代の教育を論じているのを見つけた。「七歳までは神のうち」という言葉は使っていないものの、私がかつて教わったことと同じようなことが書いてある。気になったのでネットで検索してみると、子供や教育を語る際に自身の主張などを補強するため、「七歳までは神のうち」に言及する記事やブログなどがいくつか存在していた。「七歳までは神のうち」説を信じる人はまだまだいるようなので、ここで『日本幼児史』を紹介することにも意義があるだろう。

本書によれば、「七歳までは神のうち」は柳田國男が言い出したことで、民俗学界では長らく無批判に受け入れられてきたという。この説は民俗学だけでなく、多方面に影響を与えており、例えば歴史学者（例えば黒田日出夫や網野善彦など）も「一つの重要な拠り所にして、自説を展開」するなどしている。その一方で民俗学界では、1980年代末から90年代にかけて福田アジオなどから批判が出ているが、子供を聖なる存在と見なすこの言葉は多くの人にとってよほど魅力的（好都合？）なのだろう、淘汰されることなく上述のように事実のごとく流布しているのが現状だ。

ここまで「七歳までは神のうち」のことばかり書いてきたが、本書の中心的なテーマはもっと大きく、「日本列島上における子ども、特に幼児に対する大人の認識がどう変化してきたのか、つまり幼児に対する社会認識がどう変化してきたのか」ということである。

諸々の研究により、古代以来、子供に無関心だった社会が、近世以降、子供を大切に保護する社会へと変わっていったことは従来から知られている。本書では、法令（明律や服忌令等）、文学作品（松尾芭蕉の「のざらし紀行」等）といったもののなかでの子供の扱われ方や捨て子への対応を分析し、子供観がどのような理由でどのように変遷していったのかを明らかにしており、興味深い内容となっている。

現代人の当たり前が、歴史的に見れば全く当たり前でないことがよく分かる一冊だ。（ka）



# 部落解放研究第57回全国集会

2024年度は部落解放研究第57回全国集会在兵庫県で開催されるため、人権啓発研究兵庫県集会（県研）は開催いたしません。

■日程：2024年11月19日（火）～20日（水）

■会場：兵庫県神戸市 神戸国際展示場 コンベンションホール他  
〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-11-1  
TEL：078-302-1020

■規模：4,000人

■参加対象：①部落差別解消にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など

②部落差別解消をめざす行政・教育関係者および各級議員

③部落解放運動にかかわる活動家をはじめとする部落大衆

■参加費：5,000円（参加・資料費）

■主催：部落解放研究第57回全国集会中央実行委員会

公益社団法人全国人権教育研究協議会／部落解放中央共闘会議／全国大学同和教育研究協議会／一般社団法人部落解放・人権研究所／『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議／同和問題に取り組む全国企業連絡会／部落解放同盟中央本部／現地（兵庫県）実行委員会・人権啓発研究2024年兵庫県集会実行委員会（順不同）

■問合せ：中央実行委員会

部落解放同盟中央本部 TEL：03-6280-3360

部落解放同盟中央本部大阪事務所 TEL：06-6581-8720

## 『ひょうご部落解放』発行遅延のおわび

『ひょうご部落解放』188号の発行は2024年3月31日予定でしたが、発行が遅れております。関係各位には大変ご迷惑をおかけしております。心よりお詫び申し上げます。お盆までには発行いたしますので、いましばらくお待ちください。編集部

## 夏季休業のお知らせ

8月10日（土）より15（木）までの期間、休業とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

## 事務局から

- 猛暑の中、実りの秋に向け黒豆の畔寄せ、大納言小豆の種まきと倒れそうになりながら無事終わりました。この頑張りの結果が出ることを信じ秋を楽しみに待ちます。（Ho）
- 暑いですね。私の住んでいる地域では先日39度代まで上がりました。今週末（8月の第1週）も気温が上がる予報です。自宅のクーラーの調子が悪く戦々恐々としています。（ka）
- 新型コロナが昨年、感染症法上の5類に移行してから報道も人々の予防意識も大幅に減少しました。状況を知る参考にしてきたのは一部の自治体を実施する下水中のコロナ調査。グラフは今「うなぎ登り」です。（H）
- 遊びに行った里山でニホントカゲを発見。長女ちゃんがたいそう気に入って、まめまめしくお世話しています。女の子で、名前“ちょろりん”。つぶらなお目目がかわいいのです。オスもほしいな…（ひ）

